



地方創生★政策アイデアコンテスト2018

最終審査会&表彰式

日時 2018 年 12 月15 日 (土)
14:00 ~ 17:15 (受付/開場 13:30)

場所 中央合同庁舎第8号館 講堂 (内閣府)
東京都千代田区永田町 1丁目 6-1

主催 内閣府 地方創生推進室

協賛 株式会社学研プラス/チームラボ株式会社
株式会社帝国データバンク/株式会社True Data
株式会社ナビタイムジャパン/株式会社日本政策投資銀行
ビザ・ワールドワイド/株式会社マクアケ
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 (50音順)

地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[式次第]

1. 開会 (14:00-14:05)

2. 最終審査会出場 8 組によるプレゼンテーション (14:05-15:25)

高校生・中学生以下の部：4 組 | 大学生以上一般の部：4 組

休憩 (15:25-15:35)

3. 昨年度受賞者講演 (15:35-15:55)

香川大学 地域連携学生委員会 なえどこ | 岡山県備前市 Bizen Team RESAS

4. 表彰式 (15:55-16:45)

5. 閉会挨拶 (16:45-16:50)

地方創生担当大臣 片山 さつき



6. 閉会／記念撮影 (16:50-17:15)

配布資料

- 本資料
- 協賛企業紹介

お知らせ

- 最終審査会や表彰式の模様を、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影いただき、是非 SNS 等でシェアしてください。ハッシュタグは「#RESAS」をお願いします。
- 出場者の皆様にプレゼンテーションに集中していただくために、録音、録画、写真撮影は各プレゼンテーション開始から 1 分間とさせていただきます。

地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[ファイナリスト一覧]

政策アイデアのタイトル		発表者（敬称略）	分析対象自治体
高校生・中学生以下の部	①	鶴の恩返し 群馬県立太田東高等学校 今川ゼミ 川島 一翔・江本 陽哉	群馬県
	②	Enjoy cycling!! ～愛媛の風を感じてみんけん！～ 愛媛県立松山南高等学校 白石 大悟・高田 蒼大・武田 裕喜	愛媛県
	③	シリエトク！ ～ウパシから得る感交～ 北海道斜里高等学校 八幡 歩花・水島 レイカ	北海道 網走市 斜里町
	④	ハロウィンかぼちゃで 交流振興・生産振興 ～角島大橋ハロかぼランタン ライトアップ大作戦～ 山口県立豊北・下関北高等学校 清水 麻衣子・川瀬 徳子	山口県 下関市
大学生以上一般の部	⑤	Kawaguchi Melting Project 株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング かわぐちチーム（若手有志） 稲垣 仁美・斉藤 弘子・綱島 駿介・ 寺岡 亮輔・松尾 英憲・吉満 彩子・ 米川 真美	埼玉県 川口市
	⑥	地元米を活用した地方創生 ～コウノトリ育むお米で 日本を元気に～ 神戸大学 保田ゼミ 豊岡プロジェクトチーム 小濱 直大・七條 耀胤・前迫 優希	兵庫県
	⑦	まちなかにみんなが集まりたくなる！ 魅力をつくる！ 未来のオトガワ実行委員会 水野 敬亮・嬉野 剛士・晝田 浩一郎	愛知県
	⑧	花で彩る吉野川市の未来 ～Edibleflower Ecosystem Challenge～ 吉野川市役所 & 財務省徳島財務事務所 若手プロジェクトチーム 松原 洋・酒巻 景介・長谷 洋輔・ 元木 真弥・寺西 康博・木村 亮介・ 元木 里渚・池澤 貴之・竹治 翼・ 宮前 亜依里	徳島県 吉野川市

地方創生★政策アイデアコンテスト2018

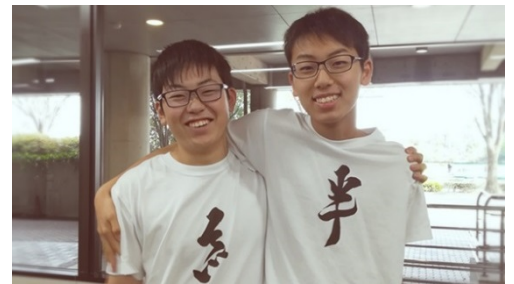
[ファイナリスト紹介] 高校生・中学生以下の部

1 鶴の恩返し

群馬県立太田東高等学校 今川ゼミ

群馬県は毎年魅力度ランキングで40番台となっているが、草津・伊香保などの温泉街や世界遺産の富岡製糸場など、群馬県には魅力的な観光資源が豊富である。私達は、全国に群馬の魅力を伝えて観光業を盛り上げたい、その思いが本コンテストに参加するきっかけとなった。

まずRESASのデータを活用し、分析を行った。次に現状の観光業の取り組みについて、市役所へのヒヤリングを行った。その中で一つの課題が浮かび上がってきた。その課題とは、群馬県は他県と比べて情報の発信力が低いというものだった。そこで私達は若者中心に流行しているSNSを利用して群馬の魅力を発信できないかと考えた。それが「鶴の恩返し」施策の導入である。これは、SNSのフォロワー数や滞在中のいいね数によって会計時に割引するというサービスである。この「鶴の恩返し」を県下の宿泊施設・店舗に導入し、群馬の魅力を全国に発信し、群馬県を観光大国にする政策アイデアである。



2 Enjoy cycling!! ～愛媛の風を感じてみんけん！～

愛媛県立松山南高等学校

私たちは愛媛県をもっと活気づけるために何かしたい、という視点からこの政策アイデアの考察を始めました。

まず、愛媛県の現状を調べて、交流人口に目を付けました。

次はターゲットを絞ることにし、広島県を訪れたオーストラリア人に着目しました。広島県には大勢来ているのに、何で愛媛県には来ないのか。来てもらえるにはどうしたらよいか。ここで、着目したのが、愛媛県が掲げるサイクリング文化。広島県からしまなみ海道を渡れば「ようこそ愛媛県」です。オーストラリア人が求めることを基として愛媛県をめぐるサイクリングツアーを提案します。

ポイントはサイクルトレイン。JR予讃線で一時的に運行されたこのサイクルトレインをツアーの利便化を図るための手段として常設化と範囲の拡大を目指します。そこからは目的地の紹介をします。最後に広報活動に関してです。まだまだ低い知名度を広げるため広島県やオーストラリアと協力するのが理想です。



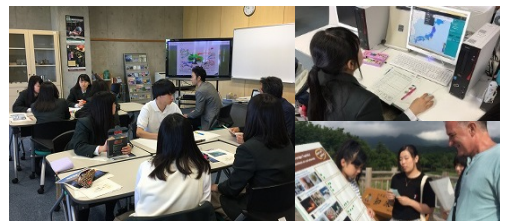
地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[ファイナリスト紹介] 高校生・中学生以下の部

3 シリエトク！～ウパシから得る感交～

北海道斜里高等学校

知床は、世界自然遺産登録をピークに観光客は年々減少しています。外国人観光客は、近年増加しており賑わいを見せるようになりました。内訳を調べると、アジアの観光客が9割を占め、欧米の観光客は全体の7%と少なく、流動人口は、夏の観光に比べ冬の落ち込みが著しく、冬の観光を盛り上げ知床の観光特性を考えて欧米から観光客を呼べないか考えました。調査の中で、欧米はトレッキングを好み、ゆったり時間をかけた観光を求めていることも調査からわかりました。外国人観光客に私たちの考えたツアーについて、アジアと欧米に分け調査した結果を踏まえ、魅力的なツアープランで地域によりインバウンドを呼び込めないと考え、RESASを活用したデータ収集や、フィールドワークによるヒアリング調査を行い、欧米のニーズにあった、斜里高生が地域の魅力を存分に盛り込んだ冬の3日間滞在ツアーを作成し、観光客を地域に呼び込む提案を作成しました。



4 ハロウィンかぼちゃで交流振興・生産振興 ～角島大橋ハロカぼランタンライトアップ大作戦～

山口県立豊北・下関北高等学校

賑やかなイメージの下関市も、中山間地域では深刻な人口減少、少子・高齢化が進んでいます。私たちの学校がある豊北町は、これらの課題が顕著である一方で、角島大橋など、県内でも有数の集客力を誇る魅力的な観光資源が多く、傾向として、首都圏や近隣大都市からの観光客が多いこと、冬の観光客や宿泊客が少ないことなどの特徴があります。

そこで、近年、都市部で流行しているハロウィンの時期に、角島大橋をハロウィンかぼちゃでライトアップするイベントを開催し、大都市からの夜・冬の交流人口を増やすことを提案します。

しかし、一過性のイベントでは真の地方創生にはつながりません。農業を主要産業とし、県内では花卉どころである地域の特徴を生かし、かぼちゃのお茶、コーヒー、ワインなどの商品開発を行ったり、ランタンづくりなどの体験イベント等を通じて、若年層のコト消費を刺激したりして、観賞用かぼちゃの需要を生み出し、生産振興につなげ、地域の人口減少に歯止めをかける取組に広がっていきます。

豊北・下関北高校生徒会は、この夢を実現するため、地域への働きかけや高校生県議会での提案などの取組を進めています。



地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[ファイナリスト紹介] 大学生以上一般の部

5 Kawaguchi Melting Project

株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング
かわぐちチーム(若手有志)

外国人人口が全国第3位である埼玉県川口市で、同市のシンボルでもある伝統産業「鋳物」を通じて多文化共生を促進させる政策アイデア『Kawaguchi Melting Project』。様々な国籍・世代を超えて人々をつなぐ機会・場を提供する「imono lab (いものラボ)」が、多様な組織・個人を巻き込みながら、川口市をさらに元気にします。

同政策を実現するために、とびっきりのワクワク感に溢れた5方策(鍋料理フェスティバル・商品開発アイデアコンテスト・ものづくり体験・トークイベント・PR)を提案します。人と人との交流が生まれ、互いの理解が促進され、imono labにかかわる全ての人たちがハッピーになることを目指します。また、鋳物の魅力で地域と世界をつなぎ、イノベーションを生み出すきっかけづくりにも貢献します。

現在、本アイデアの実現にむけ大きな第一歩を踏み出しています！



6 地元米を活用した地方創生 ～コウノトリ育むお米で日本を元気に～

神戸大学 保田ゼミ 豊岡プロジェクトチーム

兵庫県豊岡市が持つブランド米「コウノトリ育むお米」(以下、コウノトリ米)の生産高を上げることで地域の経済を活性化させようという提案です。

今回のプロジェクトは農業を振興したいと考えていた豊岡市に当ゼミが協力する形で生まれました。フィールドワークを通し、コウノトリ米が豊岡市の農業には欠かせないことを知った私たちは、コウノトリ米の生産高を上げるための課題に「認知度の上昇」を設定し、認知度を上げるためにはコウノトリ米と消費者との接点を多く作る必要があると考えました。

他の自治体を参考にした結果、米の加工品を作ることが得策であることがわかったため、製品のターゲットを詳細に定めた後に、試作を重ねることで自分達の提案をより具体的にしました。現在、日本では米の消費量が落ち込んでおり、消費者がお米を食べる機会を増やすことは重要な課題です。今回の提案はこの課題に対する解決策にもなりうると思います。



地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[ファイナリスト紹介] 大学生以上一般の部

7 まちなかにみんなが集まりたくなる！魅力をつくる！

未来のオトガワ実行委員会

岡崎市の課題は「郊外型量販店への魅力と集客の依存」にある。大型量販店が市内最大の集客地となる一方、中心市街地の商店街の個人商店は激減している。大型量販店がネット販売に押されて撤退すると、近い将来「何も魅力のないまち」になりかねない。

政策は「市内の人も市外の人にも来なくなる」「オリジナルで、地元ならではの魅力的な体験を楽しめる」「次々にコンテンツが集まり、新しい価値が創造される」場の創出。康生通商店街での空き店舗活用から始まった施策は個人スキルの活用、セミプロの活躍促進、パラレルキャリアの推進と進みながら多くの人とコンテンツを巻き込み、定期的なまちなかでの音楽イベントの開催まで、様々な領域へ展開するに至った。実践、実証の段階からさらに発展させ、良好な交通アクセス、公共空間の利活用と連動させた「東岡崎駅・岡崎城・商店街の周遊」を軸に地元ならではの魅力の創出、地域と商店街のにぎわい創生をめざす。



8 花で彩る吉野川市の未来 ~Edibleflower Ecosystem Challenge~

吉野川市役所 & 財務省徳島財務事務所 若手プロジェクトチーム

徳島県吉野川市は、四季折々の豊かな自然が息づくまちで、地区ごとにゆかりのある花を産業等へ活用してきた。RESAS等で把握した地域課題の解決に向けては、若年女性が活躍できる就労の場の創設及び地域経済の牽引役となり得る食料品製造業の生産性向上並びに若者の6次産業化を見据えた新規就農を促す仕組みが必要であることが分析から明らかになった。新たな産業を地域に創出するため、吉野川市の歴史及び若年女性の視点から、エディブルフラワー（食用花）に着目。廃校を活用し、民営のエディブルフラワー工場（IoT活用LED栽培システム）及び商品加工・販売所等を誘致、建設。多様な主体が連携・対話することで、持続的かつ新たな社会的・経済的価値の創造を目指す。このスキームは、女性や若者さらには障がいがある人や高齢者等に活躍の場や新たな働き方の選択肢を提示するとともに、既存産業とのコラボ等による地域への経済波及効果もねらう。



地方創生★政策アイデアコンテスト2018

[全国審査委員一覧] (50音順、敬称略)

大阪府四條畷市 市長

東 修平



株式会社エイチ・アイ・エス
代表取締役会長兼社長 (CEO)
ハウステンボス株式会社 代表取締役社長

澤田 秀雄



慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科
特別招聘教授

夏野 剛



統計家
株式会社データビークル
代表取締役 最高製品責任者

西内 啓



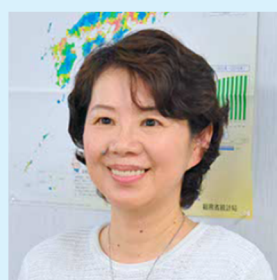
株式会社マクアケ
取締役

坊垣 佳奈



慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科
教授

渡辺 美智子



お問合せ先

地方創生★政策アイデアコンテスト 2018 事務局 電話：03-5574-8499[10:00～18:00(土日祝を除く)]

公式サイト：<https://contest.resas-portal.go.jp/2018/>

7 最終審査会での発表資料は、コンテストの公式サイトに掲載する予定です。